



ほけんだより



令和7年度 6月号

春日つぼみ保育園

梅雨の季節になり、ジメジメと気持ちも身体も過ごしにくい日が続きます。室内で過ごす日が多くなり、ご家庭でも思うように体を動かさずに退屈してしまう日が増えてくると思います。気分を変え、室内遊びを充実させるなど、ジメジメした梅雨を乗り越えましょう☆

内科健診・歯科検診のお知らせ

注意事項

6月12日(木)  **内科健診** 13時～

春日つぼみ保育園 全園児

7月10日(木)  **歯科検診** 9時30分～

春日つぼみ保育園 全園児

- 歯科検診・内科健診それぞれ時間帯が違います。ご都合が悪い場合は早めに職員にお声掛けください。
- 歯科検診当日はお口の中をきれいにして登園しましょう。
- 欠席のないようよろしくお願いします。

嘱託医 内科健診 くぼたこどもアレルギークリニック 理事長 久保田薫先生
歯科検診 くま歯科・こども歯科 多々隈 久美先生

★この健診は国で義務付けられた健診です。園での健診を逃してしまうと園医のクリニックで受診をしていただく必要がありますのでご注意ください。



りんご病(伝染性紅斑)

りんご病とは

ヒトパルボウイルスB19というウイルスに感染すると起こります。幼児～小学生くらいの子どもの多い感染症です。ほっぺたがりんごのように赤くなるのが特徴ですが、感染しても症状が現れないまま治ってしまうこともあります。症状が出なくても、感染すると免疫ができるため、2回以上かかることはありません。

主な症状

潜伏期間は約10～20日で、多くの場合、微熱やかぜのような症状が出現し、7～10日くらい後に両頬に赤い発疹が現れます。また、体や手・足に網目状やレース状の発疹も広がります。これらの発疹は1週間程度で消失しますが、日に当たったり、気温や入浴による温度変化などで発疹が長引いたり、一度消えた発疹が短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

成人では関節痛を伴う関節炎や頭痛などの症状が出ることもありますが、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。

多くの場合、感染力は、微熱やかぜのような症状がみられる時期が最も多く、発疹が現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

気を付けること

りんご病は軽い場合がほとんどですが、微熱がある場合や、倦怠感など日常生活に支障がある場合はゆっくりと休み、体調が戻ってから登園しましょう。

伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があるため注意が必要です。

姉妹園でりんご病の診断を受ける園児が増えています。

当園では登園許可証が必要な感染症です。

症状が出た場合、必ず医師の診察をうけるようお願い致します。